

京都市立双ヶ丘中学校 部活動運営方針

1. 部活動のねらい

生徒が自分の興味や関心に応じて自主的・自発的に活動する中で、個性を伸長し、社会性や人間性を育み、顧問や生徒相互の人間関係を育てる等、生徒の心身の健全な育成と責任ある個人としてふさわしい資質を育成することをねらいとする。本校では部活動を通して「仲間づくり」を目指すとともに、経験を積み重ねていくことで技術の向上だけでなく、人間的な成長につながるものと考え、指導を行っている。

2. 位置づけ

学校教育活動として教育課程外で行われるものであり、生徒会活動の一環に位置付ける。

3. 部の成立

下記の条件を満たすこととし、準備委員会で検討のうえ、職員会議で協議し、校長が決定する。

- (1) 部活動に必要な部員がいること。
- (2) 顧問がいること。
- (3) 校内に活動場所を確保できること。

4. 部員

入部は自由意志により、一人1部とする。ただし、放送部については他の部と兼務することができる。3年間継続して活動することを原則とし、入退部には保護者、担任、顧問の確認を必要とする。

5. 運営規定

(1) 活動期間

4月1日から翌年3月31日とする。

(2) 活動時間

平日2時間程度、学校休業日（土曜日、日曜日、祝日、長期休業期間等）は3時間程度を原則とする。

(3) 完全下校

下記のとおりとする。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ・4月～10月および3月 | 17時15分まで活動可 | 17時30分 完全下校 |
| ・11月～2月 | 16時45分まで活動可 | 17時 完全下校 |
| ・始業式等午前中授業 | 16時45分まで活動可 | 17時 完全下校 |

＊学校の休業日は、9時から活動可とし、完全下校は17時とする。

(4) 休養日

- ・平日1日以上および土曜日または日曜日に1日以上の休養日を設定する。休養日の設定については、各部活動の規定により定める。
- ・大会等により土曜日・日曜日の両日に活動した場合は、休養日を他の日に振り返る。

(5) 活動休止

下記の期間は、原則として活動を休止する。その他学校行事、学校体制、気象条件により活動を休止する場合がある。

- ・定期テストの一週間前からテスト終了までの期間（ただし、テスト最終日は除く）
- ・長期休業中の学校閉鎖期間。

(6) 部費

部活運営に必要な経費として部員から部費を集める場合は、1ヶ月300円を上限とし、必ず年度ごとに会計報告を行う。